
第二部 事例紹介

真城が丘交流会事業

真城が丘町内会

きっかけ ～ 技能実習生との出会い

- 技能実習生の寮と区長の家は おとなりさん
- そんな縁で 区長が技能実習生の身元引受人になる
 - ✦ インドネシア語はわからないが まずは話しかけてみよう
 - ✦ あいさつ、地域のこと、ごみの出し方 などをおしえる
- ◇ 岩手鋳機工業(株)(勤務先)の思い
 - 「実習生たちを 地域行事へ参加させたい」

ご近所さんとの交流

- ご近所さんも 技能実習生が気になるけど どうしたらいいわからない
寮にはどんな人が住んでいるの？
技能実習生ってどんな人？
言葉がわからないので、話しかけられない
- ✦ 町内会の朝掃除に誘ってみると・・・
 - ⇒ みんなで朝掃除に参加 ご近所づきあいがはじまる

町内会の朝掃除



朝掃除に参加



みんなで綺麗にします

町内会との交流

◇ 町内会の悩み事

コロナ明け、町内会行事をどんどんやっていきたい。

運動会に参加する人が少ない、参加する若者がいない・・・

そうだ、実習生を誘ってみよう！

- ✦ 区長を通じて運動会への参加を呼びかけ
- ✦ これをきっかけに いろいろな交流がはじまる

8月運動会



笑顔で写真撮影



玉入れ

町内会行事 交流事業

- 8月 運動会
- 10月 新米を食べる会
- 11月 インドネシア料理を食べる会
- 12月 クリスマスリースを作る会

11月交流会



一緒にインドネシア料理作り

11月交流会(2)



約50人分の料理！



出来上がったインドネシア料理

11月交流会(3)



みんなで仲良くいただきます！



子供たちとバドミントン

技能実習生と真城が丘町内会との交流について

※この資料は、講演会後に追加したものです。

〈技能実習生と交流した町内会の人々の感想、その他具体的な交流〉

●11月インドネシア料理を食べる会

「(実習生を)見たことはあったが、直接話ができる嬉しい」などの声が上がった。

料理を食べる他、一緒に歌をうたい、バドミントンもした。

実習生が普段どんな行動をしているのかがわからなかった。交流会準備などの買い出しを通して彼らの生活や人柄を知ることができた。

〈コミュニケーションを取る際に意識していること、苦労したこと〉

●ゴミの捨て方、町内会行事への参加

実習生はゴミの捨て方がわからないため、地域住民から(実習生の)ゴミの捨て方が良くないと言われ、苦労した。行政区長は、実習生の身元引受人という立場で責任も感じた。

ゴミの捨て方も含め、日本とインドネシアは習慣が全く違うが、様々最初から丁寧に教えれば、彼らはとても真面目なので言ったとおりにやってくれた。

また、町内会の人々は、実習生たちがどのような人間かわからないため、行政区長は彼らの人柄を知ってもらうようなるべく町内会行事への参加を促した。